

◆ 日本関係船舶における海賊等事案の被害事例（2006年）

【事例 1】

〈 嚴重な施錠を壊され侵入された事例 〉

停泊中、嚴重な施錠（二重に施錠）を行っていたところ、長刀で武装した4名の海賊が機関室後方の出入口をこじ開け侵入した。当直中の乗組員1名の手足をナイロンロープで縛り上げ、機関予備品を盗み、待たせていたモーターボートで逃走した。海賊は、フック付きのロープを使用して船尾から乗り込んだものと思われる。

【事例 2】

〈 錨泊中に乗り込まれた事例 〉

錨泊中、4人の海賊が本船の船尾からロープを伝って乗込み、機関室に侵入した。居合わせた乗組員を脅迫し押さえている間に、機関室の物品を奪った。気づいた他の乗組員から通報を受けた船橋当直者が船内警報を鳴らしたところ、海賊はすぐに逃げ去った。

【事例 3】

〈 荷役業者とのトラブル中に乗り込まれた事例 〉

荷役（停泊）中、甲板上に配置していた乗組員と荷役業者が、作業上のトラブルに対応している間に、甲板上の乗組員に気づかれずに4名の海賊が海側の舷側より乗り込んで機関室に侵入した。機関室に侵入した海賊は、居合わせた乗組員をナイフで脅して縛り上げ、機関予備品を奪い逃走した。

【事例 4】

〈 複数回に渡り襲撃された事例 〉

荷役（錨泊）中、甲板上看張りを立てていたところ、3人の海賊が船尾から乗り込もうとしたため、船内アラーム及び汽笛を吹鳴し、照射灯を向けながら拡声器による喚起を行って阻止するとともに、他の乗組員を招集（1回目）。その約1時間半後、再び海賊が船首から乗り込もうとしたため同様に阻止（2回目）。更に約2時間後、海賊が乗り込もうとしたため同様に阻止（3回目）。ところが、その後、長刀で武装した6人の海賊が船首から乗り込んだ。海賊は甲板上にいた乗組員を取り囲み、倉庫の鍵を強引に壊して、倉庫の中から備品を盗み逃走した。